



- 自分で考え進んで実践する人間
- 公共心に富み情操豊かな人間
- 勤労を尊び責任を重んじる人間
- 健康でたくましい人間

1 学期終業式 中学生と『秘密』

校長 関 勝 志

1学期を無事に終えることができ、ほっとしています。感染症による特別な制限もなく、運動会をはじめ、予定した行事や学習活動をすべて実施することができました。子どもたちの笑顔をたくさん見ることができ、嬉しかったです。

1年生は、入学してから今日まで、分からないことばかりの中、いつも全力で頑張ってきました。朝の「おはようございます」で始まり、授業での「お願いします」「ありがとうございました」、帰りの「さようなら」まで、元気な挨拶がそれを象徴しています。

2年生は、昨年の経験を生かし、学習や行事など様々な活動に自信をもって取り組んでいました。失敗を恐れず、どんなことにでもチャレンジしようとするエネルギーと、「失敗しても大丈夫」という安心感と温かさが、学年全体に感じられます。

そして3年生は、最上級生としてあるべき姿を後輩に見せてくれました。中学校生活最後の運動会や部活動で躍動する姿は圧巻でした。また、授業への取組も立派でした。課題に向き合い深く考える姿、意見を積極的に発表する姿、仲間と教え合う姿、ひたむきに取り組む姿が随所に見られました。これから進路選択の大切な時期を迎えますが、目標をしっかりとって頑張りたいと思います。

「秘密」という言葉からどんなことを思い浮かべるでしょうか。私は、子ども（小学生）の頃、友達数人と原っぱに秘密基地を作って遊んでいたことを思い出します。「秘密」には、そんなワクワクする楽しいイメージもあれば、ズッシリとくる深刻なイメージもあります。

ある臨床心理学者が「秘密は貝の中に投げ込まれた石みたいなものだ」と表現しています。貝（人間）にとって石（秘密）は異物ですが、それをずっと包んでいくことで真珠ができます。でも、石が大きすぎると真珠もできず貝も壊れてしまいます。石は美しい真珠を生むかもしれませんが、深い傷を負わせるかもしれません。

人は誰もいくつかの「秘密」をもっています。特に思春期になると、子どもたちは親や先生など身近な大人に「秘密」をもつようになります。「自分しか知らない自分」をもつことは自立に大きく関係しています。親に隠し事をする行為は12～18歳の若者の自律心の育成を助けますが、その一方で、こうした若者は心身の不調を訴える傾向が強いことも調査や研究で明らかになっています。

「秘密」を抱え込むことは、重い荷物を肩に背負っている状態に似ています。「秘密」を知られないよう隠すにはエネルギーを使います。誰にも知られていないか不安にもなります。ときにはウソをついてしまうこともあります。「秘密」を守るためにウソをつくると、そのウソをついたことが新たな「秘密」となり、これを繰り返していくうちにどんどん「秘密」が増えて、肩に重くのしかかってくるようになります。それは辛く苦しいことです。そうなる前に、勇気を出して「秘密」を信頼できる人に打ち明けられれば、きっと気持ちが楽になると思います。重い荷物を一緒に持ってくれる人が現れ、肩を軽くしてくれるかもしれません。

「秘密」をもつことは悪いことではありませんが、ウソをつかなければ守れないようなことは「秘密」にしないことが望ましいと思います。また、「秘密」はあまりたくさんもたない方が、無理せず、自分らしく生きられるのではないのでしょうか。



【ふれあい月間】 ～いじめや暴力を未然防止する強調月間～

6月の「ふれあい月間」では、いじめについて考える道徳の授業や学年集会、いじめのない学級をつくるための活動などを実施しました。そして、いじめに関するアンケート調査を行い、自分のことや友だちのことで「気になることがある」と回答した生徒たちから話を聞きました。現在のところいじめにより深刻な状況にあるという生徒はいませんが、10件の事案をいじめとして教育委員会に報告しました。本校では、ちょっとした悪ふざけやかからかい、冷やかしのイジリなども、いじめと捉えています。不安なことがあったら我慢をせず、先生たちを信頼して相談してほしいと思います。

小平四中は、「いじめゼロ」の学校、そして「思いやりと笑顔満点」の学校を目指します。

子どもたちが、安全かつ安心で、楽しく充実した夏休みを過ごすことを願っています。

■ 社会を明るくする運動 ■

7月3日（月）、小平駅前にて、四中学生役員が「社会を明るくする運動」に参加しました。

「今、全国で犯罪のない明るい社会を築く運動を行っています。私たち中学生でもできることをやろうと、お手伝いすることにした小平四中の生徒です。私たちが住み学ぶ小平を犯罪や非行のない街にするために、市民の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。」と、明るく元気なアナウンスを響かせ、子どもたちは、市長さんや保護司の方たちと共に駅前を通る人たちにパンフレットと除菌シートなどを、笑顔と一緒に届けました。

子どもたちの笑顔はきっと小平を明るくすることでしょう。



■ 交通安全教室「スケアード・ストレイト」 ■

7月19日（水）、本校校庭にて、交通安全教室を行いました。小平警察署交通課と小平市交通対策課、そして、(株)ワール（スタントマン）の方たちをお招きし、交通事故の再現により「恐怖を直視する」体験プログラムです。

連日、猛暑が続いていましたが、前日の天気予報で気温が多少下がり、曇り予報となったため、運動会と同様の十分な熱中症対策を講じて予定通り実施しました。

冒頭のスタントマンの紹介で、「最近出演した映画では、東京リベンジャーズ…」と話が出ると、生徒からどよめきが上がりました。普段は映画などに出演している俳優さんたちが中学生の安全学習のために全力で演技してくれました。有難いです。

自分が交通事故に遭わない、また他人を事故に遭わせないためには、自転車運転の危険性を知る必要があります。交通法規を守らない場面で起こる事故を目の当たりにし、その衝撃音と、生身の人間がはねられて転がり落ちる激しさで、生徒たちも、先生たちも、背筋をやりとさせ、シーンと黙ってしまいました。疑似体験ですが、交通事故の怖さを体感しました。

大型車の死角や内輪差も実際の車の動きから学びました。事故を防ぐには、交通ルールを遵守することはもちろんですが、事故が起こるしくみを知り、危険を予測し回避する力を身に付ける必要があります。道も狭く交通量の多い通りのあるこの地域で生活する子どもたちには、学びの多い時間となりました。

明日から42日間の長い休業日に入ります。友人同士で出かけるような場面もあると思います。自分が交通事故に遭わない、また他人を事故に遭わせないために、交通ルールを守ってほしいと思います。



■ 生徒の活躍 ■

剣道部 第10ブロック中学校剣道大会学年別選手権大会

白石大輝 優勝

【東京都大会出場決定】 鈴木碧、飯島芽衣、男子団体、女子団体

小平市中学生剣道大会

男子団体（鈴木碧、久我、白石、澤田、高崎、松村） 優勝



男子バレー部 第10ブロック選手権大会第3位 【東京都中学校バレーボール選手権大会出場】

陸上競技部 第62回東京都総合体育大会陸上競技大会

女子1年100m 2位 藤井日菜乃 【関東大会出場決定】

女子東部低学年リレー（カ石、樽井、藤井、武富、河本、福田） 5位

卓球部 第10ブロック夏季大会 女子団体Aチーム 5位

ソフトテニス部 東京都選手権東京都大会予選 女子団体3位 【東京都大会出場決定】

■ 9月の主な行事予定 ■

1日 始業式

4日 全校朝礼

5日 専門委員会

7日 中央委員会

11日 生徒会朝礼

12日～14日 職場体験（2）

16日 道徳地区公開講座

20日 生徒会役員選挙

22日 校外学習（1）

24日～26日 修学旅行（始）

27日 3年振り替え休業日

29日 専門委員会（後期）